

令和3年度 広報さいじょうアンケート結果（紙面等）

1 調査概要

調査目的：広報紙について読者の意見を収集し、今後の編集方針の参考とするため

実施期間：令和3年9月16日～11月13日

（広報紙面等に掲載。平成30年度から実施）

回答者数：1,509人（はがき136人、ホームページ640人、デスクネット730人）

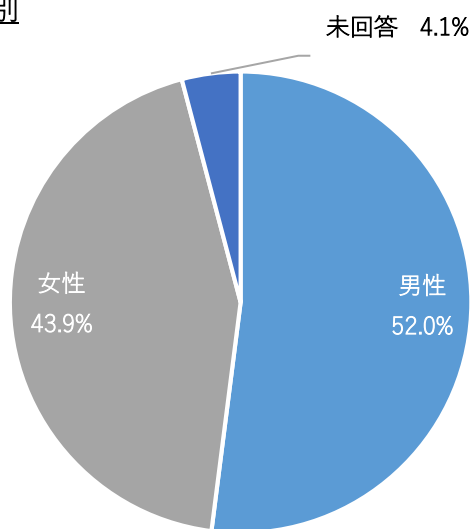
※昨年回答者数：1,218人（はがき128人、ホームページ265人、デスクネット825人）

発行部数：49,700部

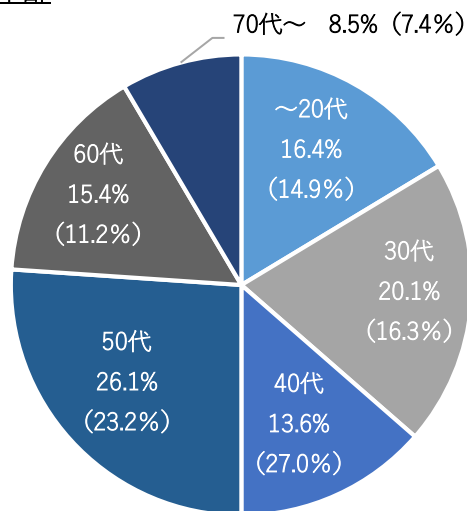
回答率：約3.0%（前回：約2.8%）

2 回答者属性

性別

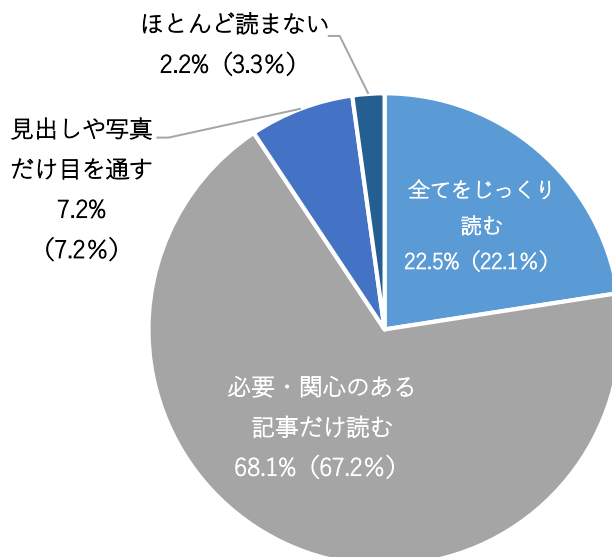


年齢



3 アンケート結果（全体）

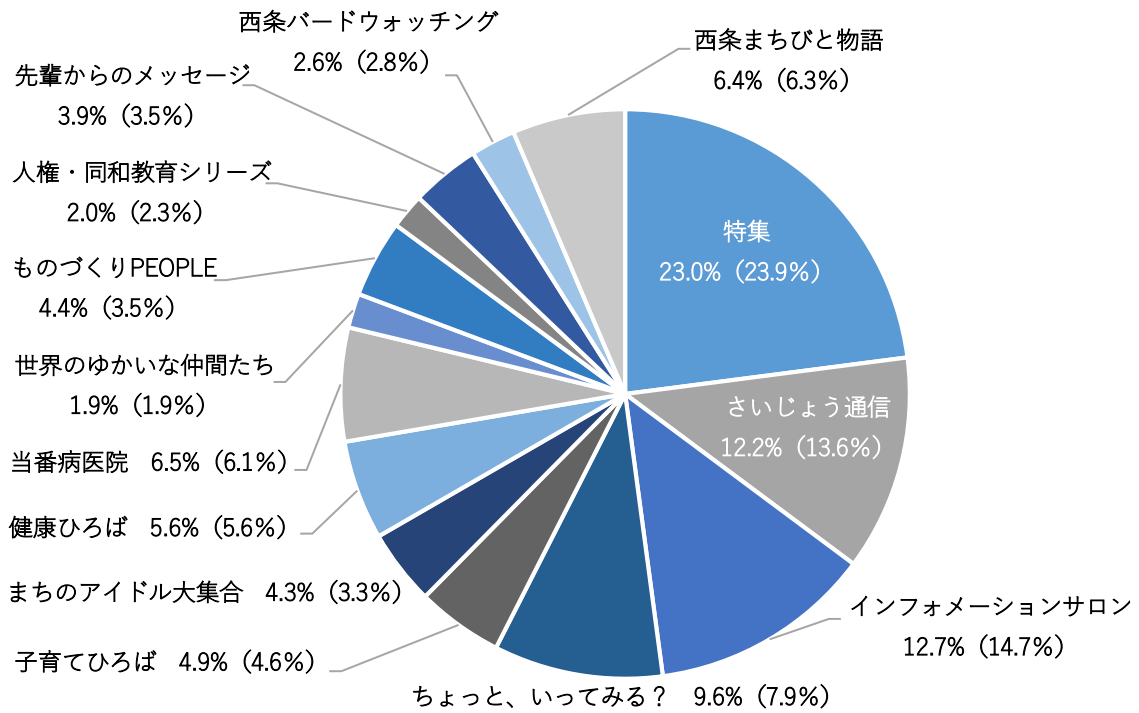
どのように読んでいるか



※（ ）R2（前回）

ラインでアンケートの周知を行った結果、様々な年代の回答者が昨年より300人ほど増加した。「必要・関心のある記事だけ読む」の回答者は約7割で推移。特定記事しか読まない方に、いかに他の記事も関心を持ってもらえるかが課題。

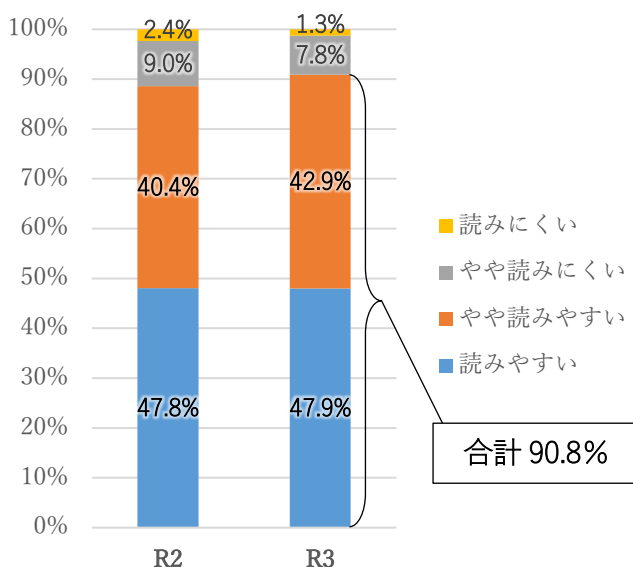
よく読む記事はどれか（三つまで選択）



※（ ）R2（前回）

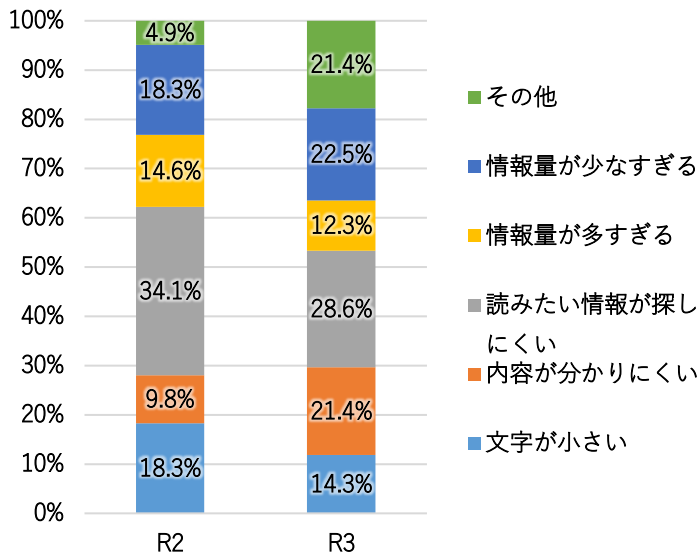
「特集」と「インフォメーションサロン」が昨年と比べて減少し、「ちょっと、いってみる？」が増加。前半の記事に目を通す人が多く、特集は約5人に1人が読んでおり、関心を持たれていることが分かる。その他の記事はほぼ横並びとなっている。

広報さいじょうは読みやすいか



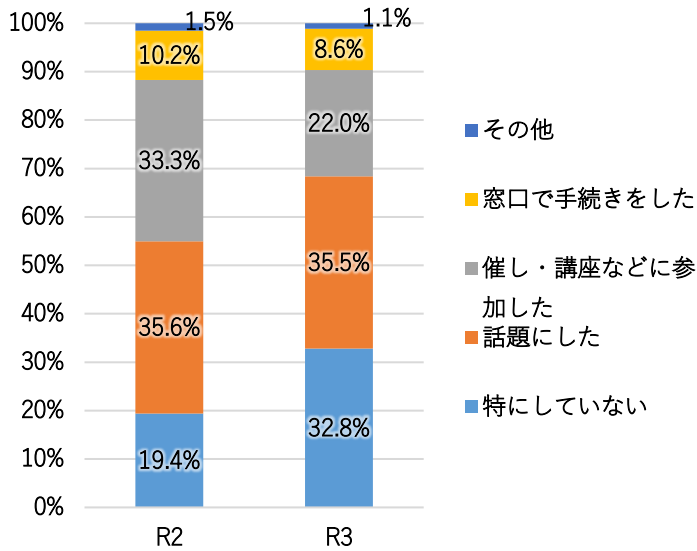
「読みやすい」「やや読みやすい」の回答が9割を占め、昨年と比較すると「やや読みやすい」の回答が増加。「記事の配置がよくない」の意見も見られるため、紙面デザインの工夫が必要。

読みにくい、やや読みにくいと答えた理由（複数回答可）



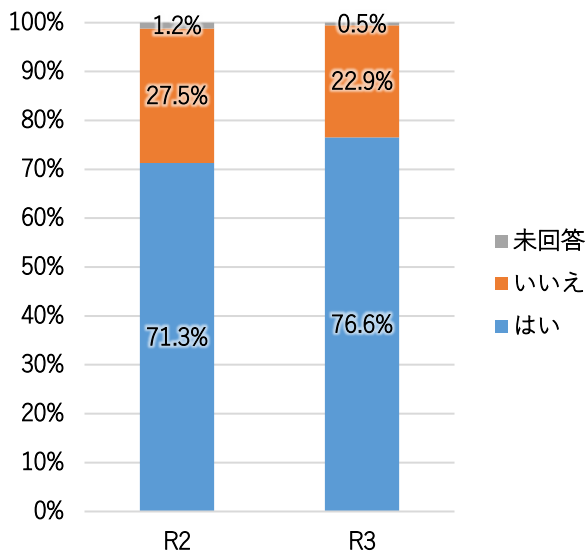
昨年と比較すると「内容が分かりにくい」が6.5ポイント、「情報が少なすぎる」が4ポイント増加。簡潔で分かりやすい文章、豊富な情報を工夫して掲載する必要がある。

広報紙を読んで行動を起こしたか（複数回答可）



「特にしていない」という回答が昨年より大幅に増加。市報をきっかけに自然と行動が起こせるような、視覚的・内容的にも印象に残る記事を作成することが課題。

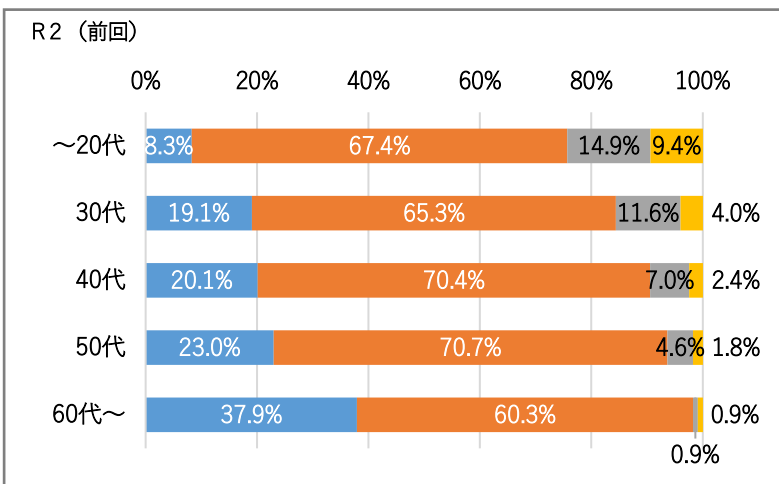
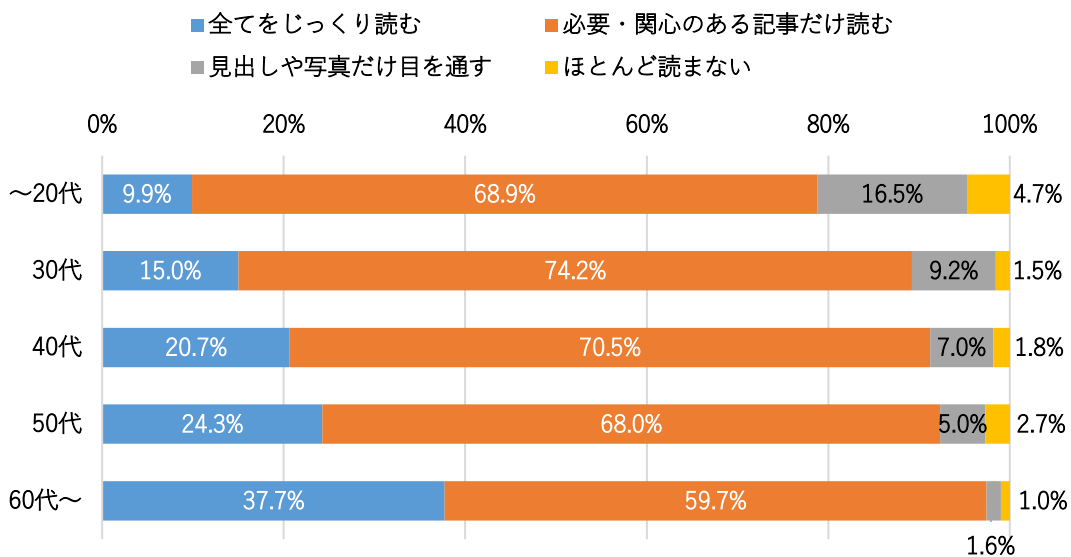
西条市を好きになるきっかけになっているか



「はい」と答えた方は昨年と比較して5.3ポイント増。約7割と、広報紙がまちを見直すことにつながっていると考えられる。理由記入欄には「新しい発見を得られる」「知らなかった西条の魅力が分かる」といった意見のほか、「もともと好き」「広報紙は無関係」という意見も見られた。

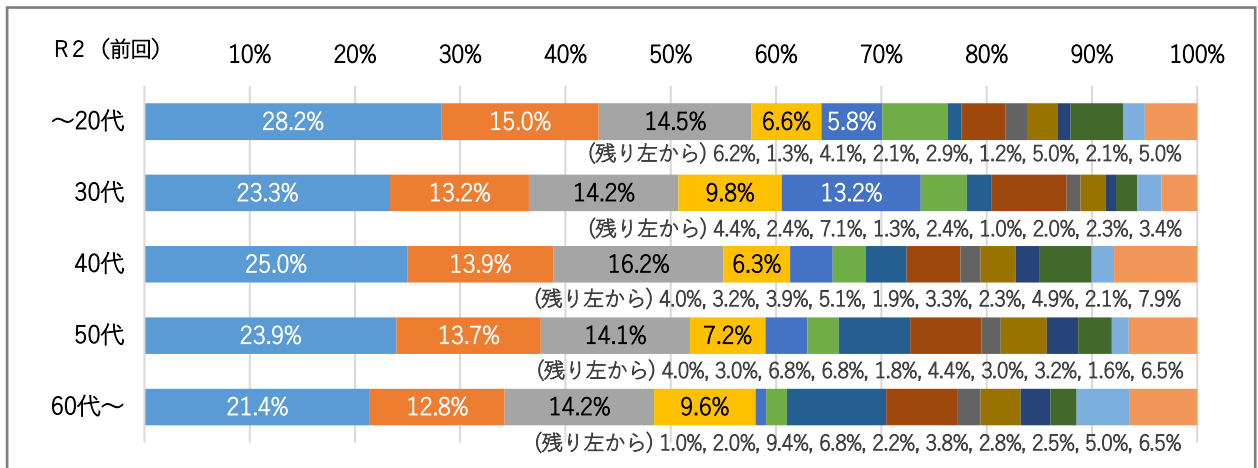
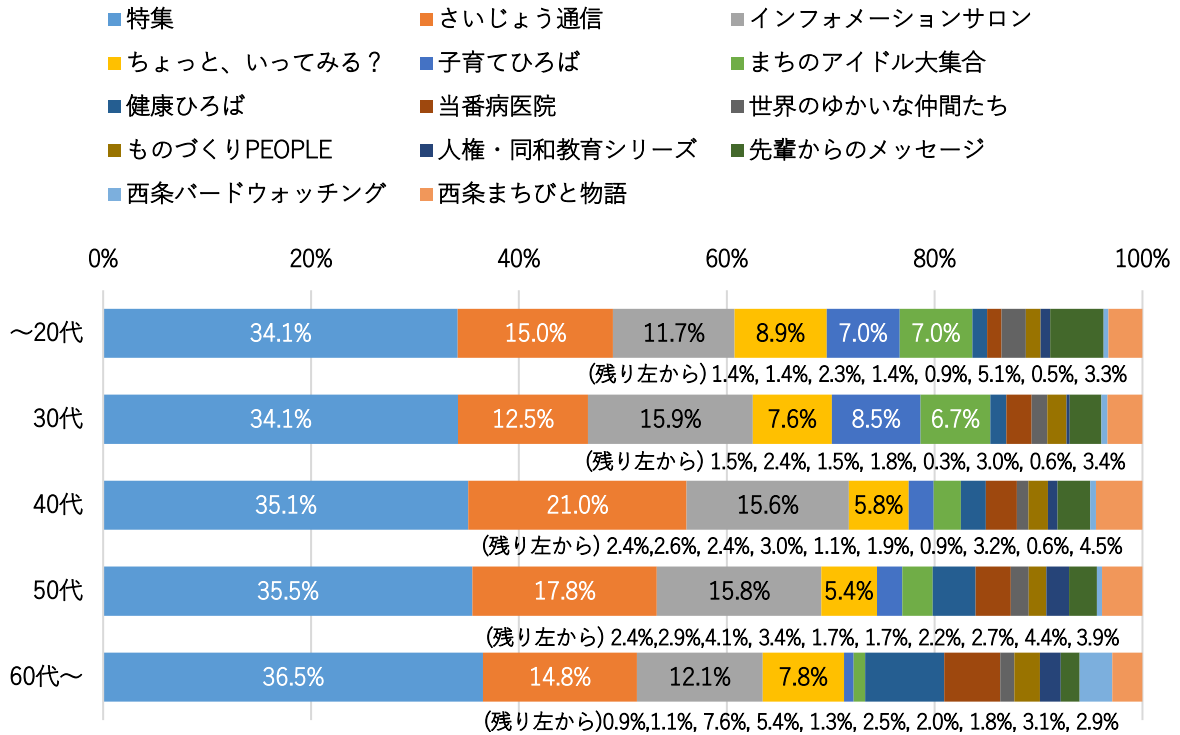
4 アンケート結果（年代別等）

どのように読んでいるか



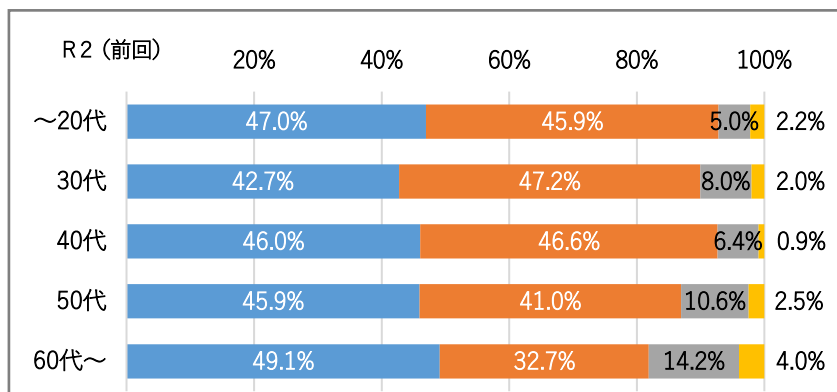
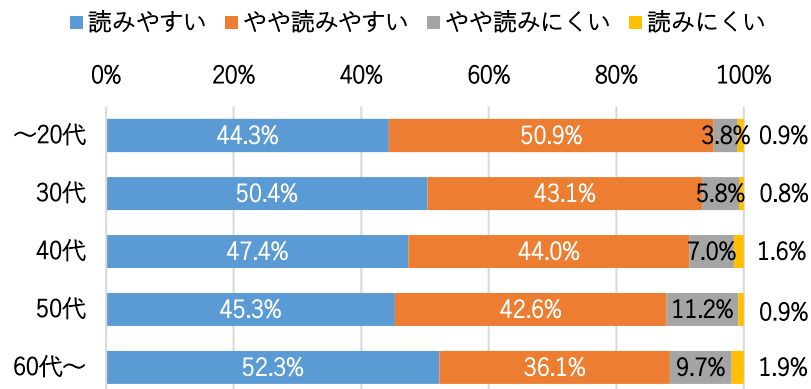
60代以上は、約4割が「全てをじっくり読む」で推移。30代でも「全てをじっくり読む」という方が増加している。年代が下がるにつれて、じっくり読む方が減少している。

よく読む記事はどれか（三つまで選択）



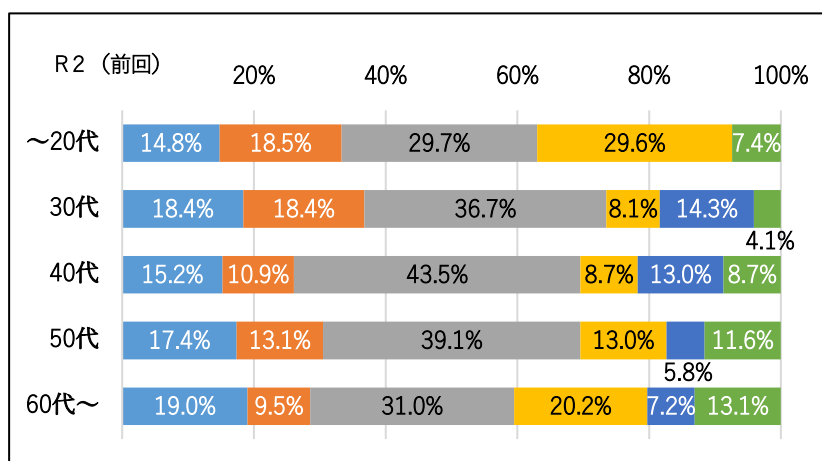
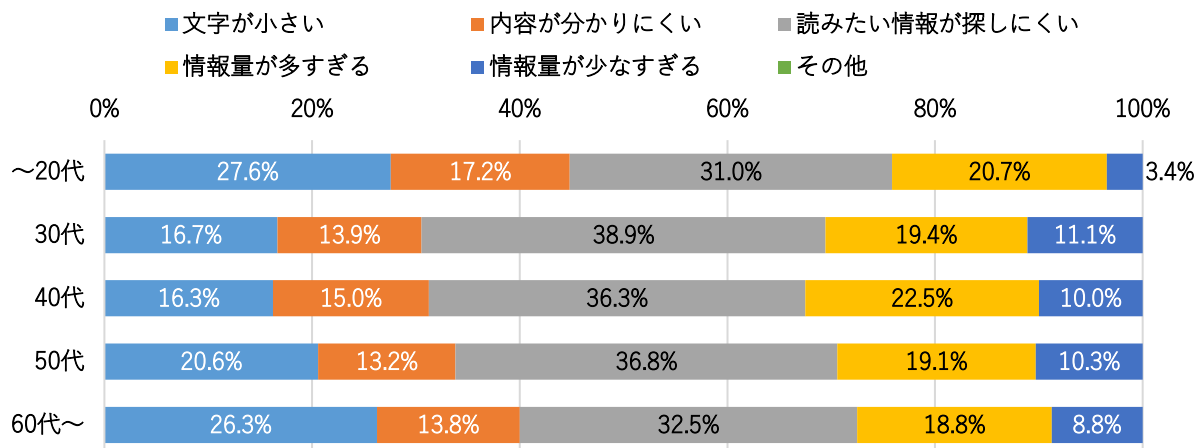
昨年と同じくどの年代でも、よく読む記事の上位は「特集」「さいじょう通信」「インフォメーションサロン」となっている。「子育てひろば」は30代がよく読んでおり、需要が伺える。「健康ひろば」は年代が上がるごとに読む割合が増加している。

広報さいじょうは読みやすいか



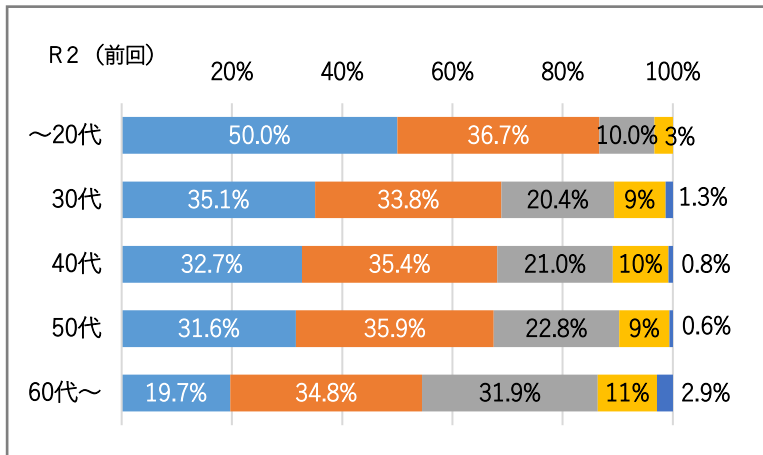
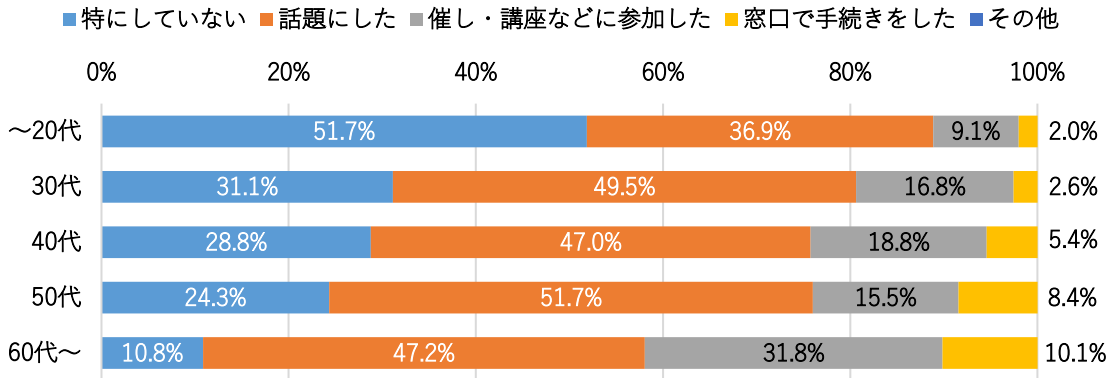
全年代で8割以上の方が「読みやすい」「やや読みやすい」と回答。昨年と比較して30～40代の「読みやすい」の割合が増加したが、「やや読みにくい」「読みにくい」と答えた方も増えており、対策が必要である。

読みにくい、やや読みにくいと答えた理由（複数回答可）



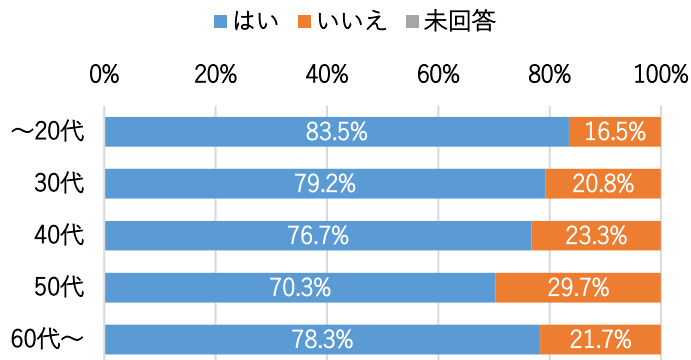
どの年代でも「読みたい情報が探しにくい」の割合が多い。また、「文字が小さい」と答えた20代が増加。30～50代でも「情報量が多すぎる」が増加しており、写真を増やすなどの工夫が必要。

○広報紙を読んで行動を起こしたか（複数回答可）



行動を起こした方の比率は、年齢層が上がるにつれて高くなっている。特に60代以上では「催し・講座などに参加した」との回答が32%と高い。昨年と比較すると、20代以外の年代全てで「行動を起こした」方の割合が増加。

西条市を好きになるきっかけになっているか

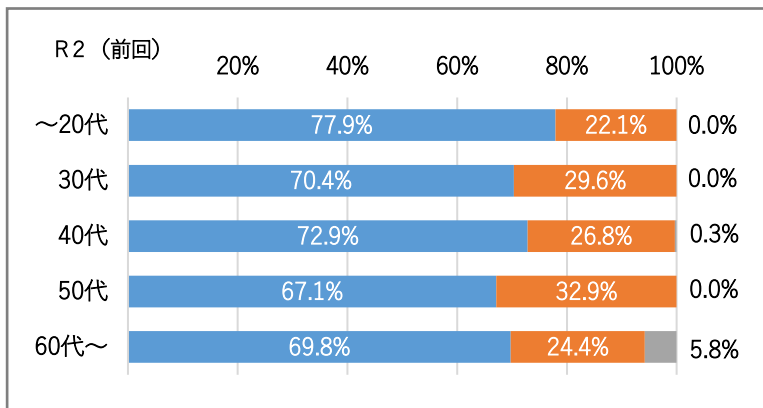


●**総合計画KPI**

「まちを好きになるきっかけになっている」の回答者のうち、40歳未満の割合を増加する。

【目標】R6：80%

R2：74%→R3：81%



全ての年代で「きっかけになっている」という方が増加。理由記入欄では「生き生きと活躍している人や身近な情報が載っていておもしろい」「広報紙をきっかけに人との新たな出会いが増えた」などの回答が見られた。

肯定的な意見

- 市外から転居して一年ですが、地域の人・ことを紹介しているところに親近感が湧く内容。
一つの内容が長過ぎないので読み切りやすい。（～20代・女性）
- 昔に比べて、表紙や内容が若者でも見ようと思う内容になったと思います。（20代・男性）
- リニューアル（全面カラー）後の巻頭特集が西条を知るきっかけとなっている。地域でこういうことをやっている、ということは日常生活ではなかなか知れないので面白い。（30代・女性）
- 以前より見やすい広報紙になって良かった。コロナ禍で子供達が県外に行きにくい中、西条の魅力を改めて見直すチャンスだと思います。（40代・男性）
- ここ数年、表紙の写真がお洒落で気に入ってます。（40代・男性）
- ライン公式アカウント登録しました。便利です。マイナンバーカードも、市役所で写真とってもらい作りました。みなさん、とても感じ良く接してもらいました。仕事の休みがあえば又、講座に行ってみたいです。イベントも多いんですね。（50代・女性）
- 紙面全体が凄く読みやすく、掲載されている写真も素敵なものばかりで西条市の良さをアピールできる広報誌だと思います。毎月届くのを楽しみにしています。（50代・女性）
- これ程内容の濃い充実した広報紙はないと思います。レイアウトも苦心されているせいか大変読みやすく感じられます。改善などするような所は特にありません。これからも楽しめる情報をよろしく願います。（60代・男性）
- いつも楽しく読んでます。県外からの転入者ですが、「こんな広報紙良い！」と思います。工夫されているのがよくわかります。ありがとう！！（60代・女性）
- 我々老人には文字も読みやすい大きさに助かってます。掲載内容も工夫されて居て、知りたい記事が有り嬉しいです（70代・女性）

否定的な意見

- 昨年と比べ、文字が多くて読みづらい特集がある。（～30代・女性）
- 以前はものすごく読みやすくなったと感じたが、最近あまり魅力を感じなくなった。いつも同じではなく、以前のように常にいい意味で変化をしなければ魅力をかんじない。（40代・男性）
- 西条市や一部の関係者がアピールしたいことばかりが大きく掲載され、一般の市民の方にとって必要な情報が少なく、探しにくいように思います。（50代・女性）
- 最近の表紙がカジュアルな感じになり、親しみやすいのですが、地域に配布される無料タウン誌と似た感じで、間違っって捨てそうになることがあります。タウン誌と一緒にポストに入ったりますので、さらにややこしくなりました。（50代・女性）
- 最近、記事が密になってきているような（少し詰め込みすぎのような）（60代・男性）
- 西条市の生活に密着したタウン情報（新店舗、催しなど）をもっと盛り込むことにより地域の活性化にもつながる。毎月同じ内容ばかりのような気がする。（60代・男性）
- 自分にどれが必要な情報なのか？わかりにくいので、全部さっと目を通さないとわかりにくいです。結構読むのに、時間がかかります。（60代・女性）
- バードウォッチングは、もうずいぶんと見せてもらいましたが、もっと他にもコンテンツがあると嬉しいです。西条市は高い山、低い山、大きな川、小さい名もない川、よくよく見れば云われの有る花とか。地区の公民会報では西条市民に広く伝わらないと思うので、いつまでも他人様のよその地区になっちゃうよ（70代・女性）

掲載希望のテーマ

- 犬猫の里親募集等のページを作ってほしいです。子供だけではなくペット紹介ページも見たいです。(～20代・女性)
- 綺麗な花が咲いている場所や子供と遊びに行くといい場所等(～20代・女性)
- 西条産の作物(絹川なすなど)を使った簡単レシピのコーナーなどがあったら、個人的には楽しいうれしいです。(～20代・男性)
- 催し講座にスポットを当て飲食店やバザー等イベント情報を載せてほしい(～20代・男性)
- コロナ禍でも経済がまわるよう商店街や飲食店など、イベント情報。(30代・男性)
- コロナで自宅で過ごす時間が増えていると思うので、お家での過ごし方や、ストレスをためない工夫など。(30代・男性)
- 西条にあるお店とか子どもが遊べるところとか紹介してくれると助かります。今コロナ禍で、なかなか遊べていない子どもたちが可哀想なので。(30代・女性)
- 西条のSDGsの取り組みで家庭でもできる簡単なことをテーマ別(食事、そうじ、農作業、教育など)に説明していただきたいです。(40代・女性)
- アウトドア関連の情報を増やしてほしい。(40代・男性)
- 目次を作って欲しい(40代・男性)
- よろず相談に答えてほしい。市民からの質問コーナー(50代・女性)
- 西条市のトレッキングコースやおすすめ散歩コースを教えてください。(50代・女性)
- 動物愛護について、迷子になった時に愛護センターへ送られたら1週間で殺処分されるので、鑑札を付ける必要性について飼い主へ啓発してもらいたいです。(50代・女性)
- 西条市(西條、小松、東予、丹原)のそれぞれの歴史や成り立ちなどの解説特集などあれば、若い方や移住された方なども興味があるのではないのでしょうか。(50代・男性)
- 市内各地区の紹介をしてほしい。小学校区別にでも。場所さえもわからないところがたくさんある。転入者には知りたい情報です。(60代・女性)
- 「住みたい街 西条」に移住してきたご家族に、実際暮らしてみた感想などを課題も含めて実情を特集してほしい。あとは「政治」。中高生～20代の若者が国政や地方自治に興味関心を持てるような切り口を連載できないのでしょうか。未来の西条市を築くために地元出身の若者が政治を理解して「街づくり」の核になっていく広報誌になればいいと思います。(60代・男性)
- 人権問題を取り上げてほしい。まだ、差別はあります。(60代・女性)
- ①災害等があった場合は地域の活動が重要です。自治会への加入を促し、皆が協力しあえるようくり返しくり返し発信してほしい。②①同様、ゴミの減量化にもっと注意を促してほしい!③ポスティングシステムにより増刷になったが数量は?(70代・女性)

改善点・工夫など

- 若年層に興味を示してもらえるように写真をたくさん掲載してほしい。(20代・女性)
- 若者が関心を持てるような、映えスポット（インスタの「LOVE SAIJO」アカウントでリポストしている写真など）のコーナーを作してほしい。趣味で写真撮影をしているSNS等を利用してない世代でも参加できるような、公募型にしても面白いと思う(20代・女性)
- もう少し写真を多くして、文字を減らしてほしい。年齢別の成長の話(何歳の頃はこういうことをするから、その時は、こういう声かけをしたらいい、コールセンターなど)(30代・女性)
- 必要な記事、情報は残しつつ、特集などはこれまでにない市報づくりにチャレンジしてほしい。ただ、その他情報誌（ふぁぶーるなど）と被らないようなものがよい。(30代・男性)
- レジャー関係に力を入れてほしい(釣りをするなら○○がおススメ・自転車で行くなら○○ 距離など目安・フォレスト西条特集 料金の記載やクーポンなどあれば魅力的・コロナ禍だからこそのキャンプ特集など)(30代・男性)
- インスタグラムで lovesaijo で投稿された写真を広報でも何点かピックアップし、その場所の情報や小ネタをはさんで紹介したら面白いとおもう。最近あまり盛り上がっていない気がする。投稿しても lovesaijo 側からの「いいね」が付かないことが多々あり。他市のインスタに比べると放置に近いのでは？これでは非常にもったいない。そのためにもインスタと広報を連動し、西条市の市民目線での情報をもっと発信すべきと思います。(40代・男性)
- 事務的な連絡事項とイベント情報やお店情報などを分けてもっと分かりやすくすると、読みやすいかなと、おもいます。(50代・女性)
- 西条市でありながら小松、丹原、壬生川の記事が少ないように感じます。もっと先の三地区の話題や特集を組んでみては。旧西条市だけの町ではないはず。(60代・男性)
- インフォメーションサロンの上部に「新型コロナウイルス感染症の影響で…」を掲載しているが、文字及び枠を太字等にしてはどうか。→気づきやすいように(60代・男性)
- 毎月シリーズで掲載している記事については、発信側（行政）ではなく受信側（市民）の視点で、その存続の有無・掲載の意義を定期的に検証すべきではないか。(60代・男性)
- 特集記事を増加させて欲しい、人間的・予算的な制約は承知しているが、まだ旧4地区の事が伝わる紙面構成を望む。(60代・男性)
- 大きい字でお願いします。(70代・女性)
- もう少しページ数が少ない方が読みやすいのでは？（読む気になりやすい）また、西条市は広く地区名の西条地図が描けない。各地区探訪（紹介）シリーズを企画しては？(70代・男性)
- 西条の人口が年々減っています。移住を推進するのもいいですが、地域の若い人が西条に留まるようになるにはどうすればいいのか西条の魅力を市民にアピールしてほしい。(70代・男性)